

北海道教育委員会教育長 様

北海道当別高等学校長 保 格 秀 規

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。



## 1 本年度の重点目標

・生徒が楽しく学ぶ当別高校

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価から生徒のニーズを踏まえた授業改善を行い、生徒の学びに向かう力を身につけさせることができたか。【評価：B】</li> <li>・ICTを活用した学習方法を確立し、各教科における「見方・考え方」を定着させることができたか。【評価：B】</li> <li>・教科や探究活動における具体的な3観点を生徒に示し、当高力の育成を意識した取組を実施することができたか。【評価：B】</li> <li>・地域の人的・物的教育資源を活用し、三学科の特色や地域のニーズを踏まえた教育活動を実施できたか。【評価：B】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において育成を目指す資質・能力を明確にし、生徒の自己評価を取り入れた取組は、学びを振り返る良い機会となっている。ICT活用や地域資源の活用も一定程度進んでおり、教育活動の幅が広がっている点は評価できる。一方で、教科間・教員間での実践や評価の共有が十分とは言えず、学校全体としての統一感には課題が残る。今後は研修や情報共有を通じて、取組の質的向上と横断的な展開が期待される。</li> <li>・探究学習は、地域での認知度も徐々に上がってきているものと感じている。生徒が自ら成長を感じられる貴重な学習機会であると思うので、さらに充実した内容となるよう期待したい。【総合評価：A】</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の開始時に、その資質・能力についての現時点での自己評価を生徒に記入させ、終了時に再度自己評価をさせるよう、科目クラスルームでフォームによる自己評価サイクルを固定化できるように検討したい。</li> <li>・ICTの利活用はそれぞれの先生が個別に行っているのが現状である。次年度は他校の実践等を含め、一層の情報提供や研修を行いたい。</li> <li>・評価期間ごとに評価法について資料を提示して適切な評価を促した。学校全体として日常的にどのように生徒の学習を見取り、評価しているのかなどの共通認識を持つための情報共有や研修を行う。</li> <li>・地域の人的・物的教育資源を活用は浸透してきていると感じるが、探究とその他教科で教科横断的な授業展開に活用されるよう推進していく。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自らが判断し、行動する力を身につけさせることができたか。【評価：B】</li> <li>・生徒との対話を通じて信頼関係を作り、各生徒の人格を尊重した接し方ができたか。【評価：B】</li> <li>・各生徒の個に応じた社会参画を創出し、生徒の主体性を育成することができたか。【評価：B】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年・分掌、家庭、地域との連携を通じて、生徒一人一人に寄り添った生徒指導が進められている点は評価できる。いじめ対策委員会等を中心とした組織的な対応や、地域関係者との協働により、生徒の困り感や課題に丁寧に向き合う姿勢が見られる。一方で、学年と分掌の連携や指導方針に対する教員間の共通理解には課題が残る。【総合評価：A】</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年と分掌の間に壁がある。生徒の気づきを優先した指導方針に対する教員間の意識のズレを、研修等を通じて改善していく。</li> <li>・いじめ対策委員会や学校生活委員会との連携を深めて取り組んだ。生徒の様々な困り感に今後も継続して対応していく</li> <li>・本校の教育活動に協力してくれる地域の方々や当別町少年指導委員会との連携が図れた。今後も継続する。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスや探究活動を活用したキャリア教育を通して、基礎的・汎用的能力を獲得させ、進路目標実現に対する意欲を引き出せたか。【評価：B】</li> <li>・地域・社会の様々な立場の方々との連携し、多様な生き方に関する情報を提供することで、自己の生き方に真摯に向き合う姿勢を引き出せたか。【評価：B】</li> <li>・学校から社会・職業への円滑な移行を果たすため、校内外の諸機関と連携を図り、生徒個々の目標に沿った具体的かつ効果的な進路指導がなされたか。【評価：B】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究活動や進路ガイダンスを通じて、生徒が自らの進路について考え、目標を明確にしようとする取組が着実に進められている点は評価できる。地域や外部機関との連携により、多様な生き方や社会との関わりに触れる機会が確保されていることも、生徒の視野を広げる上で有効である。</li> <li>・3年生すべての進路先が決定したことは大いに評価できる。高校でのカリキュラムの満足度が高かったことや先を見据える「意欲」を感じる。【総合評価：A】</li> </ul>

改善方策	<p>総合的な探究活動を通してキャリア教育の組織化を進めることができた。生徒自身が培った力の幅を広げ、3学科それぞれの特長をさらに推進する。</p> <p>「地域社会」の特色を生かして、校内外の諸機関と連携し、各々の教育内容に応じたキャリア教育を推進する。生徒が教職員以外の社会人からも学ぶ機会を確保し、充実を図る。次年度以降は、それらと連携し、各々の教育内容に応じたキャリア教育を推進する。</p>	
健康 ・ 安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関との連携を図り、生徒への指導や支援が適切に行われたか。</li> <li>【評価：B】</li> <li>・健康相談活動を充実させ、個の生徒の状況を把握し対応することができたか。</li> <li>【評価：B】</li> <li>・ICTを有効活用し、生徒の健康状態について職員間の情報共有ができたか。</li> <li>【評価：B】</li> <li>・授業や避難訓練を通じて防災への意識を高めることができたか。</li> <li>【評価：B】</li> <li>・委員会活動等の生徒の主体的な活動により、公共物を大切にすることを育成することができたか。【評価：B】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の健康教室やスクールカウンセラーとの連携、養護教諭を中心とした健康相談活動により、生徒一人一人の心身の状況に応じた支援が着実に実行されている点は評価できる。ICTを活用した出欠・健康情報の共有や、防災訓練・救急救命講習の継続的な実施により、安全意識の向上も図られている。一方で、心の問題が多様化・複雑化する中、外部機関とのさらなる連携強化や校内での迅速な情報共有体制の充実が求められる。今後は組織的な支援体制を一層整え、生徒の自己管理能力の育成につなげていくことが期待される。</li> <li>【総合評価：A】</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の健康教室やスクールカウンセラーによる面談等を行った。増加傾向にある心の問題を抱えた生徒に対応すべく、より外部機関との連携の充実を図る。</li> <li>・養護教諭やコーディネーターによる面談が主だった。次年度より学年コーディネーターを置き、スピーディーな状況把握に努める。</li> <li>・Classiによる出欠確認により情報共有は成された。より一層の活用を検討する。</li> <li>・一日防災学校や避難訓練、北海道シェイクアウトの実施により防災意識の向上を図った。また、救急救命講習の実施による知識の醸成も継続して図っていく。</li> <li>・学期末の大掃除をはじめとして、生徒がいきいきと清掃活動に参加するクラスが増えた。掲示物等の管理にも生徒が主体的に関わる仕組みを作る。</li> </ul>	
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として基本的な資質を身につけ、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒の育成に向けて取り組むことができた。</li> <li>【評価：B】</li> <li>・集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身につけた生徒の育成に向けて取り組むことができた。</li> <li>【評価：B】</li> <li>・基礎・基本の定着を目指し、三学科の特色を活かした多様な教育活動と生徒の進路目標の達成を目指したキャリア教育を推進することに向けて取り組むことができた</li> <li>【評価：B】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や企業、PTA、コーディネーターとの連携により、三学科それぞれの特色を生かした教育活動やキャリア教育が着実に推進されている点は高く評価できる。行事や特別活動を通して、生徒が他者と関わりながら主体的に学ぶ機会が充実しており、社会性や協働性の育成につながっている。一方で、取組の成果や好事例を学校全体で共有し、組織的な運営につなげていく視点が今後は一層重要となる。引き続き外部との協働を基盤に、持続可能で開かれた学校運営の推進が期待される。</li> <li>・町が実施する様々なイベントや事業に当別高校生が参加することは、イベント自体が活気づくことや生徒にとっても地域の人々と触れ合える貴重な体験であると考えている。今後も積極的に参画いただきたい。</li> <li>【総合評価：A】</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の協力やコーディネーターの尽力により、三学科ともに地域や企業との連携は非常に充実したものとなった。次年度以降も推進していきたい。</li> <li>・本校の教育活動に協力してくれる地域の方々やPTAの力を借りて、各種行事において生徒の育成の充実を図ることが出来た。次年度以降もお力添えをお願いしたい。</li> <li>・商工会、地域企業、コーディネーターと連携により充実したキャリア教育を推進できた。次年度以降は、そこに製菓衛生師資格取得に係る協賛企業からの協力を頂き、より充実したキャリア教育を推進していきたい。</li> </ul>	
公表方法	学校評価書をホームページに掲載	

3 添付資料

- 1) 令和7年度学校評価教職員結果
- 2) 令和7年度学校評価生徒・保護者結果
- 3) 令和7年度学校評価学校関係者結果